

施策評価管理シート

施策体系	政 策	3	活力に満ちて暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	1	地域産業の振興	担当部局名	部局長名
	施 策	3	観光交流	産業部	杉本 一徳

1. 施策の基本方針 Plan

○ 観光戦略に基づき、着地型・体験型の観光など多様化するニーズに対応するとともに、広域的観光関連事業等により、外国人を含む幅広い観光客に対応することで、持続可能な観光振興、地域経済の活性化を図ります。

2. 現状と課題 Plan

- ・名張市観光協会の改革プランの策定を受け、名張市観光戦略の検証、見直しを行うとともに、関係団体との適切な機能分担を図る必要があります。
- ・エコツーリズムを始めとするニューツーリズムの推進に当たり、将来的な移住定住まで視野に入れた地域の魅力発信に努めていく必要があります。
- ・外国人誘客を進めるにあたり、専門人材の確保、育成に努めるとともに、市境、県境を越えた広域観光連携のための日本版DMO法人の設立に向けた取組を進める必要があります。
- ・赤目キャンプ場をはじめ、所管する観光関連施設について、施設の必要性を客観的に判断し、必要な施設は年次的に整備、改修を進めるとともに、必要性の薄い施設は廃止する等の取り組みが必要です。

○施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
名張市の物産や観光地、歴史や文化で、誇れるまたは紹介したいものがあると思う市民の割合（％）	目標	-	-	-	60.0	
	成果	55.2	50.8	53.0		0.0%
観光レクリエーション入込客数（千人【延べ数】）	目標	-	-	-	7,500	
	成果	1,125	3,677	4,906		59.3%
赤目四十八滝渓谷を訪れた外国人の数（人【延べ数】）	目標	-	-	-	10,000	
	成果	1,780	8,324	11,248		100.0%

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
・名張市観光協会と連携し、名張市観光戦略の検証、見直しを進めていきます。 ・エコツーリズムを始めとするニューツーリズムの実施に当たり、地域の魅力発信や移住定住を意識した事業展開に努めます。 ・東奈良名張ツーリズム・マーケティングの事業充実を努めるとともに、日本版DMO法人の登録に向けた検討を進めます。 ・赤目キャンプ場の民間団体への移管に向けた取組を継続するとともに、今後の観光施設の在り方について、検討を進めます。	・今後の本市の観光振興について、名張市観光協会等関係団体と情報交換するとともに、観光戦略に基づく取組の効果検証を行い、今後の本市観光振興の在り方について検討を進めました。 ・8月に、地元赤目地区まちづくり委員会等との連携により赤目四十八滝キャンプ場を拠点に関西圏の親子を対象に実施した「自然体験ツアー」をきっかけに、関西から80余名の団体旅行の受け入れにつながりました。 ・東奈良名張ツーリズム・マーケティング（ENN）では、国内外エージェンツへの営業を通じて、ファムトリップやモニターツアーの実施、旅行展やWEBでの情報発信に努めたことで、ENNを介した外国人観光客の入込が始まりました。あわせて、DMO法人の登録に向けて、調査・検討を進めました。 ・赤目四十八滝キャンプ場については、民営化に向けて地元団体と協議を進めるとともに、国の地方創生関連交付金を財源とした施設改修に向けた準備を進めました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

- ・関係団体との機能分担のもと、効率的な観光振興に努めるとともに、名張市観光協会が取り組みを進めている「組織改革と運営ビジョン」の推進を視野に入れた観光施策の推進が必要となっています。
- ・観光戦略については、これまでの取組の効果検証を踏まえ、引き続き関係団体から意見をいただきながら新しい戦略に的確に盛り込んでいきます。
- ・都市部住民を対象とした、地域の魅力発信や移住・定住へのつながりを意識した取組を更に充実させていく必要があります。
- ・東奈良名張ツーリズム・マーケティングの取組を一層充実させ、営業活動等を通じて自主財源の確保に努めるとともに、法人化やDMO候補法人の登録等、民営化を進めていく必要があります。
- ・赤目四十八滝キャンプ場の民営化について、スムーズな民間への移行を図るため、地元団体と実務レベルでの協議を進めていくとともに、ニーズに応じた施設改修を実施していく必要があります。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） Action

- ・観光協会をはじめ、関係団体等との連携により、新たな「名張市観光戦略」の策定を進めます。
- ・関東、関西各都市圏からの自然体験ツアーなど、地域や関係団体等との連携によるニューツーリズムの取組を推進します。
- ・「東大和西三重観光連盟」等広域的な取組の中で、広く国内外からのさらなる観光誘客に向けた取組を進めます。また、「東奈良名張ツーリズム・マーケティング」の取組を通じ、本エリアの魅力発信とインバウンド誘客に努めるとともに、民営化等将来の自立を目指します。
- ・赤目四十八滝キャンプ場の改修整備に着手し、これまでの機能に加え、移住体験や農業体験など幅広い活用が可能な施設へとリニューアルします。加えて、次年度からの民営化に向けた最終調整を進めていきます。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

関係団体等との連携を強化するとともに、見せ方などを工夫しながら、本市の魅力を市内外に効果的に発信できる取組を進めること。